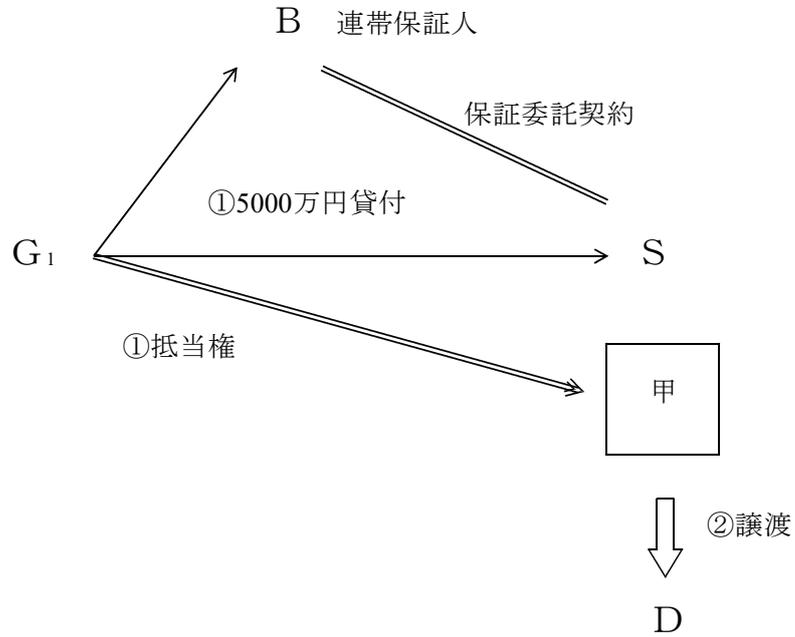


第4回講義参考資料

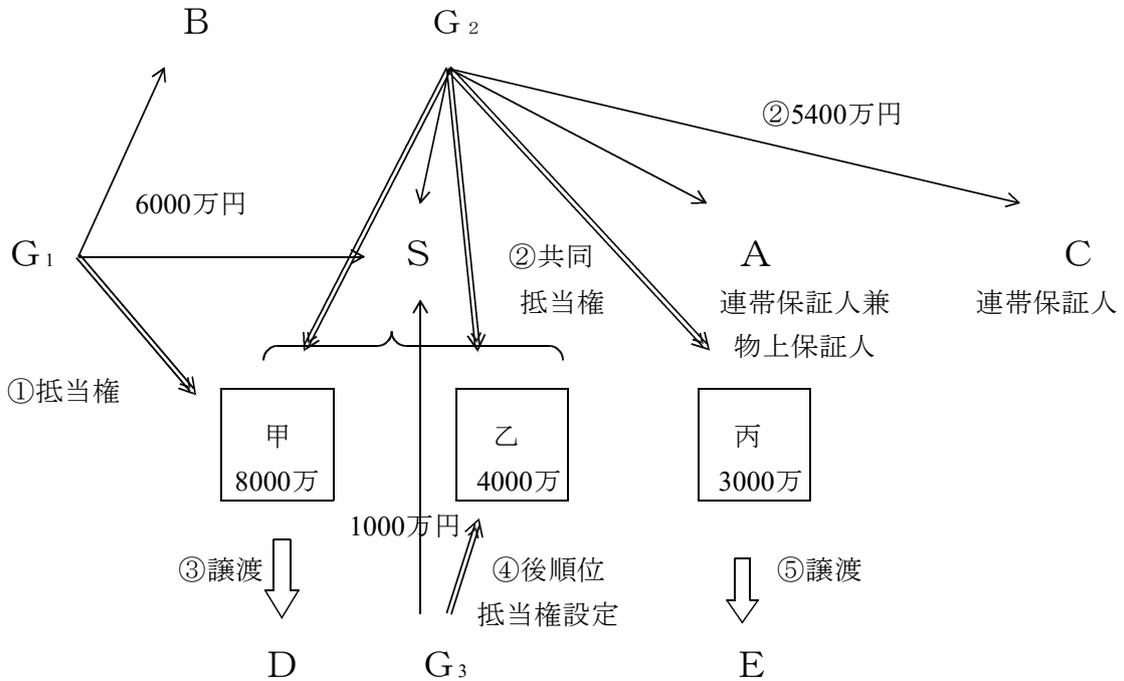
2017/09/01

【当事者関係図】

(1)の当事者関係図

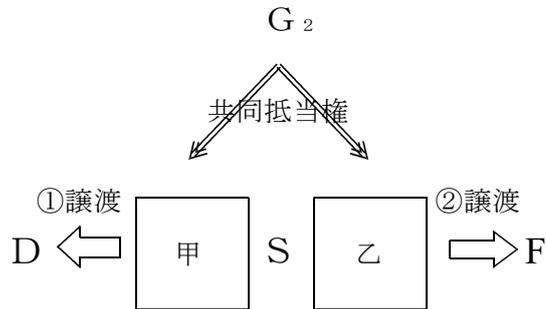


(2)の当事者関係図

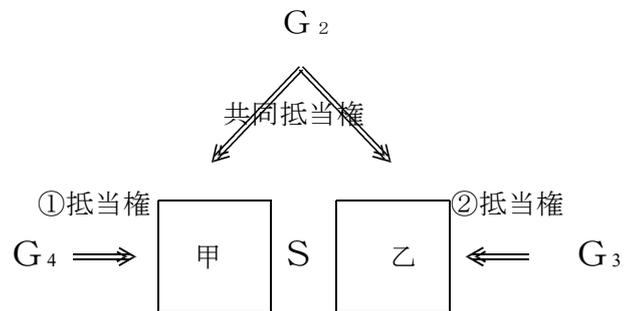


対比に使う仮定の事例（被担保債権は簡略化のため省略しています）

(a) 共同抵当目的不動産の順次譲渡



(b) 共同抵当目的不動産への後順位抵当権の順次設定



【本日言及する(可能性のある)判例・文献】（太字は事前指示判例）

◎判例・その他

- 1) 最判昭61年2月20日民集40巻1号43頁 <LEX/DB27100029>
- 2) **最判昭59年5月29日民集38巻7号885頁** <LEX/DB27000013>
- 3) 最判昭41年11月18日民集20巻9号1861頁 <LEX/DB27001144>
- 4) **最判昭44年7月3日民集23巻8号1297頁** <LEX/DB27000805>
- 5) **最判昭61年11月27日民集40巻7号1205頁** <LEX/DB27100054>
- 6) **最判平9年12月18日判時1629号50頁** <LEX/DB28030171>

◎学説

- 1) 我妻栄『民法講義Ⅲ 新訂担保物権法』（岩波書店、1968年）462頁
- 2) 高木多喜男『担保物権法〔第4版〕』（有斐閣、2005年）251頁